

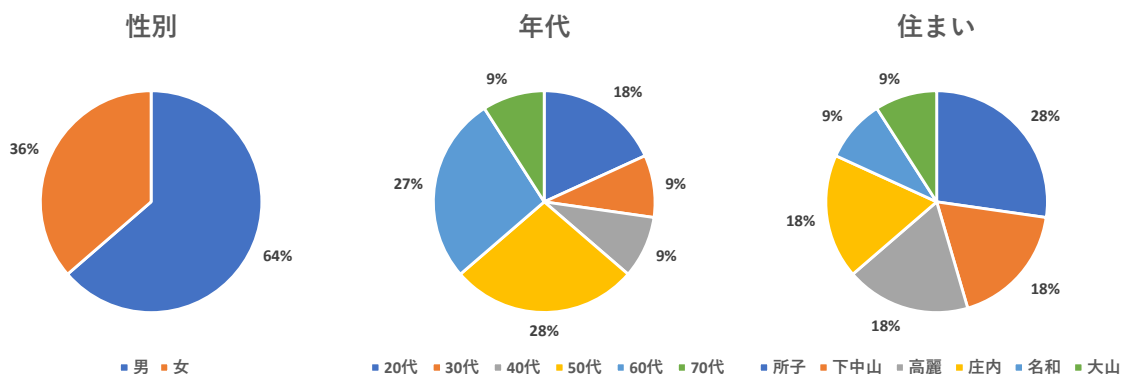
第三次大山町総合計画の検討に関する より良いまちづくりに向けた施策提案ヒアリング実施結果

1 ヒアリング概要

[調査目的]	住民の皆様が日頃から感じている課題について、課題の解決に向けた提案を受けることで、第三次大山町総合計画基本計画の参考とするもの
[調査手法]	とっとり電子申請サービスを用いた任意のアンケート
[調査期間]	令和7年8月22日(金)から令和7年9月18日(木)まで
[設 問]	質問① (選択・必須) あなたの性別を教えてください。 質問② (選択・必須) あなたの年代を教えてください。 質問③ (選択・必須) あなたのお住まいを教えてください。 質問④ (選択・必須) ご記入いただくご意見に近い項目を選んでください。 質問⑤ (記述・必須) 質問④で選んだ項目について、あなたが思うまちの課題をご記入ください。 質問⑥ (記述・任意) 質問⑤で記入した課題について、あなたが思う解決策や提案をご記入ください。

2 回答結果

回答人数 11人



(項目ごとの内訳)

文化・芸術・スポーツ	1 件	福祉・人権	1 件
産業・雇用・起業	2 件	生活環境	1 件
結婚・子育て	1 件	自然環境	1 件
保健・医療・介護	1 件	その他	2 件

3 意見概要

番号	項目	まちの課題だと思うこと	課題に対する解決策等の意見
1	文化・芸術・スポーツ	・なかやま温泉館に防音設備の整った音楽室があるのに上手く活用されていない ・バンド活動をしたいと思っている若者は、練習できる場所がなく諦めている	・練習場所としてドラムセット一式、ギターアンプ、ベースアンプ、PA機材の常設をする ・音楽の町・大山町なかやまとして活性化
2	産業・雇用・起業	・60歳を過ぎて次の職を探している者には、働く、働ける、働きたい仕事がない ・少し身体に不調があるが働けるといった人の「仕事」が無い	・週30時間等の短時間労働で事務職が最適ではないか、役場には雇用の場所があるのではないか ・民間企業にも働きかけ、改善策を模索しなければならないが、公的機関から改善すべき
3	産業・雇用・起業	・一番は働く場所が少ない ・必然的に働く場所がある地域に住むことになるので、人口が減ることで空き家問題や保育所や学校など企業の様々な運営も難しくなる	・雇用を改善するために企業誘致を行う ・工場などの物作りなどの企業であればどんな方でも働きやすい ・他の自治体では出来ない動きをしていくことが今後の鍵になる
4	結婚・子育て	・人口減少	・出生率を高めるために子育て支援金を多く出してほしい
5	保健・医療・介護	・所子地区に子育て世帯の家が増えてきているため、近くに小児科の病院があったほうが安心して診察を受けられる	・大山IC付近の土地に病院や店などの施設
6	福祉・人権	・町内に障がい者のグループホームがひとつしかないために、町内の障がい者が町外に出ざるを得ない状況にある	・福祉全体で考えるのであれば、障がい者も高齢者もいつかは通る道であるため、均等に検討してほしい

番号	項目	まちの課題だと思うこと	課題に対する解決策等の意見
7	生活環境	・高齢者世帯のみならず多世代世帯であつても平日日中は高齢者しかおらず、病院受診や買い物の移動手段が無く住みづらさを感じる	・若い世帯を増やすために保育施設を増やすこと、学校終わりに過ごす場所と受入人数を増やすこと ・ボランティアやシルバー人材に宿題を見てもらったり、学研や算盤などのような塾の送り迎えが出来なくても塾代を払えば教育を受ける事ができたりすれば、過疎地であつても魅力あるまちとしてアピールできる
8	生活環境	・空き家が増えてきた	・危険な空き家の取り壊し補助による除却の促進
9	自然環境	・名和ライスセンター前など街灯が新たに設置されているが、夜間は車しか走らない道路に照明は必要ない ・まさに光害で鳥取県が星取県と名乗れるのは屋外の照明が少ないからこそ	・交通量の少ない道路の街灯は撤去する ・照明がないからこそ感じる月の明るさ、星のきらめき、闇の深さ、自然の気配、夜の闇とともに暮らすのが星取県に住む者の暮らし方
10	その他(人材)	・人の話を聞かない、住民の方を見ていない ・ばらまき中心の古い行政運営が限界	・勇気を持ってリコールをかける動きにつなげていく
11	その他(人口減少)	・人口減少は、働き盛りの労働者の低賃金、将来展望の無さが、出産・育児に耐えられない ・中央の政治家は己本位で、若者が希望をなくし、荒れていく	・官民合同の真実を明らかにする研究機構を作る ・町民はもとより、どんな学者、研究者であれ、費用は参加者自身が持つ